

森林作業道開設現地研修会を開催

岐阜森林管理署では、昨年度に続き平成23年10月11日（火）から14日（金）にかけて、東白川村内の国有林において、社会貢献の森『「サントリー「天然水の森 ぎふ東白川」』の活動と連携して、「森林・林業再生プラン」を推進するために必要な「丈夫で簡易な森林作業道」の普及・定着を図るため、民有林関係者を主体として事業者（林業・建設業）・行政機関・林業関係者・職員等を対象に、森杜産業(株)の田邊由喜男氏を講師として招き森林作業道開設現地研修会を開催しました。

研修会の期間中には、100名（延べ約144名）の参加者があり、本年度は幹線の作設を中心にヘアピンカーブ、スイッチバックなどの線形の取り方から小型バックホウによる切土・盛土の方法（切盛等量）・表土や根株等の利用方法及びCD管を使用した水処理などの実演指導と実演の間に実技指導も有り大変有意義な研修会となりました。

森林作業道の作設は、現地の気象、地質・地形等の条件に適合したものを創意工夫して作設する必要があることから、研修会の内容を参考としてお知らせします。

【分岐作設のポイント指導】



【盛土作設のポイント指導】



【ヘアピンカーブ作設のポイント指導】



【スイッチバック作設のポイント指導】



ヘアピンカーブの作設実演

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



スイッチバックの作設実演

①



②



③



④



⑤



⑥



洗い越しの作設実演 (CD管も使用)

①



②



③



④



⑤



⑥



丸太アンカーによる盛土補強の実演

①



②



③



④



⑤



⑥

